

とつぜんですが、みなさんニュースで「夏日」という言葉を聞いたことがあると思います。夏日は、日中の最高気温が25度以上の日をいいます。

ちなみに、30度以上、35度以上になると呼び方が変わるそうです。どんな呼び方になるのでしょうか。調べてみると面白そうですね。

さて、みなさんは海やプール、花火、かき氷、祭り、夏休みなど、夏が好きな人は多いと思います。今年の夏の天気を調べてみると、今年の6月～8月の気温は、全国的に平年並みか、平年より高くなるそうです。

気温が35度以上の地点が多くなり、40度以上のところが見られます。気温が高い場所に共通点はあるのでしょうか。

では、ここからは社会の目 気温の高い地点と低い地点をしょうかいします。

### 気温が高い地点

1位 埼玉県 こしがや 越谷 41.1度 (2018年7月23日)

2位 岐阜県 みの 美濃 41度 (2018年8月8日)

2位 岐阜県 かなやま 金山 41度 (2018年8月6日)

げろし  
(下呂市)

2位 高知県 えかわさき 江川崎 41度 (2013年8月12日)

5位 岐阜県 たじみ 多治見 40.9度 (2007年8月16日)

## 気温が低い地点

1位 北海道 旭川            -41度        (1902年1月25日)

2位 北海道 帯広            -38.2度      (1902年1月26日)

3位 北海道 江丹別        -38.1度      (1978年2月17日)

(現在の旭川市)

4位 静岡県 富士山        -38度        (1981年2月27日)

地図帳のP89・90 (日本の自然のようす(2))を参考にしながら、  
それぞれの地点を見つけてみよう！

